

タイトル

ニホンザルの農村への依存度の変化

The variation of the dependence on rural areas of macaca fuscata

概要

近年、野生鳥獣による農山村への被害が増加する傾向にある。被害が深刻な野生鳥獣の一つであるニホンザルでは、人間生活域への依存の度合いが被害増加の大きな要因になっているといわれているが、科学的な研究は未だ少ない。本研究では、電波テレメトリーを用いた追跡調査によって群れの行動を追跡し、観察と分析からニホンザルの人間生活域への依存度を定量化し、ニホンザル個体群の行動と人間生活域への依存の間にどのような関係があるかを明らかにする。



『集落へ下りてきた追跡個体群 ヒトの存在を怖がらない個体も多い』

URL

産業界への展開例・適用分野

野生鳥獣の農山村への依存とその被害の関係を明らかにすることで、被害を減少させる対策を科学的知見に基づいて提言することができると考える。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	橋口 岳史	社会情報学 専攻	生物資源情 報学分野	修士2年
	守屋 和幸	社会情報学 専攻	生物資源情 報学分野	教授